

ル古渡橋畔ノ所謂ホイホイ地藏ハ實ニ此ノ勤王ノ義民六
左衛門慰靈ノ記念堂ナリト云フ當年ノ尊皇思相亦知ル可キ
ニアラズヤ此ノ悲壯ナル殉難決實ハ抑モ現代ニ何物ヲ寄與

スルカ滔々タル世相ノ浮薄ヲ慨シ民心ノ輕佻ヲ嗟ク者誰レ
カ斯ノ純真ノ忠烈ニ泣カザル者アラシヤ」

千葉縣に於ける昭和十三年

水害對策應急事業

後 藤 季 總

一 千葉縣水害の概況

昭和十三年に於ける本縣下敷次の風水被害は激甚を極め、縣民の蒙りたる損害は實に尨大なる金額に達した。即ち六月二十七日から七月四日に至る間に於いて、縣下を襲ひたる豪雨は平均五〇〇耗以上の雨量を示し、殊に東葛飾、印旛、香取等北部地方に在つては六二八・六耗といふが如

き驚くべき雨量を示したのである。其の結果利根、江戸の二大河川をはじめ各河川及印旛沼、手賀沼、長沼等は一時に増水氾濫して、未曾有の大浸水となり、道路、堤防の破損崩壊、耕地關係施設の破壊等、慘憺たる状態を現出した。農耕地の浸水面積に至つては、實に五萬町歩に互り、晝夜兼行、排水に努力を傾注したるに拘らず、減水の状態甚だ緩漫にして、冠水二十日以上に及ぶ地方も少からず、稲作

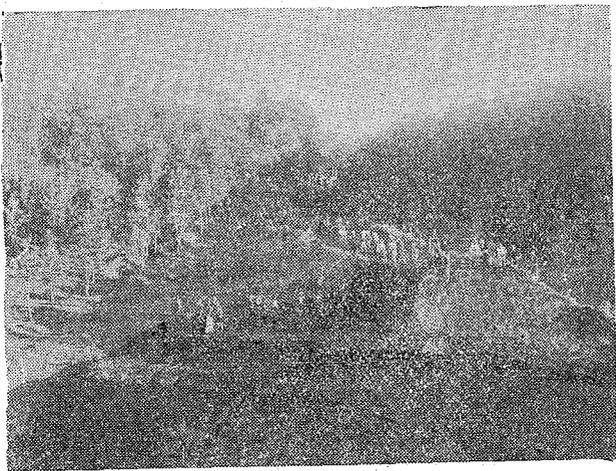
の被害のみにても、面積三五、七五一町歩、減水見込高四一四、二三一石、其金額一三、七四三、八五四圓、それに

大小麥をはじめ各種畑作並水産、土木、耕地、林産、畜産等の被害を合すれば、被害見積總額は、實に二一、四五九、〇〇〇圓といふ莫大な額に達し、應急救済を要する窮民は九七、四〇〇人を算する状態であつた。

縣は速急にこれを救済するの必要を認め、對策を考究中、偶々八月三十一日より九月一日に亘りて襲來せる暴風雨は、最高風速四三米、雨量最高三六二耗に上り、死傷四二人、倒潰及流失浸水等の家屋數六、二四一戸、遭難船舶二〇隻、農産物の被害額六、

一二八、七四三圓、其他の被害額を加ふれば一一、九六〇、三五六圓の巨額に達した。随つて縣民は甚しき窮迫の状態

に陥り、殊に利根川沿岸地方の如きは、飯米の自給困難に陥したる上、當地方一圓に於ける主要副業たる藁工製作は



第九號工事場印麻郡六村瀬山戸田先地

原料たる藁の缺乏に因りて収入を見る能はず、また東葛、印旛兩郡下に於ける蔬菜の行商は、畑作の一般の被害に因つて、殆ど不可能の状態に陥つた。斯如く各方面の副業収入は殆ど杜絶して、罹災地方民は全く生活の困難に陥り、急速に救済對策を講ずる必要を生じたのである。

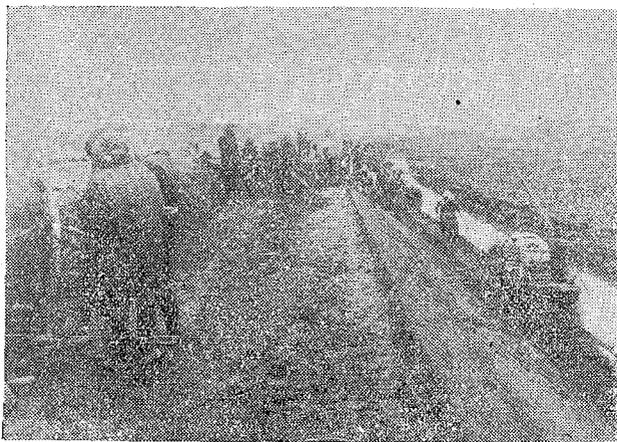
二 水害對策土木事業の概要

斯如き窮迫せる事態に對處し、

本縣は直ちに應急の施設を講ずることに努力を拂ふと共に、一面また罹災民に對して就勞所得の機會を與へ、進ん

で更生の方途を講ぜしむるため、土木關係工費百五十萬圓、耕地關係工費二百九十九萬八千百十八圓、合計金四百四十九萬八千百十八圓の事業を企劃せんとし、昭和十三年八月二十五日主務大臣に、國庫補助を稟請中、再び八月三十一日から九月一日にかけての暴風雨に遭遇して、事態一日の遷引をも許さざる状態に至つたので、爾來主務省に對して、急速詮議方を陳情すること數次に及んだところ、幸ひ政府に於いては本數の實情を諒察せられ、同十月に至り國庫補助の指示を受けることが出來た。即ち總工費五十八萬圓、昭和十三年度三十五萬圓、同十四年度二十三萬圓、其の三分の一を國庫補助に仰ぐことゝなつた。茲に於いて直ちに臨時縣會を召集して、二ヶ年繼續事業として之が協賛を

經たる上、國庫補助の申請をなし、昭和十三年十二月二日附を以つて、昭和十三年度事業費三十五萬圓に對して、十一萬六千六百六十七圓の國庫補助指令に接した。仍て工事は、夫々被害地の狀況に應じ斟酌査定の上、東葛飾郡内三ヶ所、印旛郡内五ヶ所、香取郡内四ヶ所、海上、山武、長生三郡下各一ヶ所、これを工事別として道路十五ヶ所、河川二ヶ所合計十七ヶ所を選定、實施することゝなつた。其の就勞豫定人員は、昭和十三年度に於いて延十七萬九千七百六十一人、同十四年に於いて十一萬七千七百三十五人、計二十九萬七千四百九十六



横 利 根 川 筋 増 補 工 事 の 實 況

に進んで就勞し、豫期以上の成績を擧げ得べき見込みである。

人に達し、目下全部工事に着手し、地元民は感謝を以つて

事業費の配當に關しては、救済上の均衡と適正とを期するため、特に考慮を拂ひ、左記の如き方針に據ることとした。

記

一、要救済農家戸數一市郡五百戸以上なるか または二以上の郡市に跨りて隣接し五百戸以上の地域なること

二、昭和十三年六、七月の水害に依る免租許可面積五町歩以上の町村に於ける、平均戸數割以下の農家戸數及び就勞希望者一日平均人員を斟酌査定し、配當比率として之を被害市郡に配分す。

一、耕地事業として配當ある地域に對しては斟酌を加ふ
 一、市郡内に於ける工事一個所は、左記考慮の上選定す。

右の標準によつて決定した昭和十三年度事業計畫は左の通りである。

府縣道改築工事計畫書

路線名	改築箇所	延長	工種	有效 幅員	施行 方法	着手竣功期日	工費	土地買 收費及 補償費	器具 機械費	雜費	計	勞力費
關宿—野田	東葛飾郡 二川村	1,100米	道路	4.5米	直營	自十三年七月二十八日 至十四年三月五日	2,125円	800円	100円	100円	3,125円	7,125円

工事費

邊田—野田	旭村 野田町	東葛飾郡	八五三	"	"	"	"	八〇八一	一〇三	四三三	三六七	九〇六四	五、四三八
流山—柏停車場	東葛飾郡 流山町	東葛飾郡	九〇〇	"	"	"	"	八〇八	二〇三	六四	三、〇六五	七、二五一	
柳戸—柏停車場	東葛飾郡 手賀村	東葛飾郡	二、二〇〇	"	"	"	"	三、四六〇	四、〇〇〇	二、〇〇〇	四、一〇八	二、四六四	
木下—中山	印旛郡 大森町	印旛郡	二、〇〇〇	"	五・五	"	"	三、八九三	六〇〇	二、五〇〇	一、五〇〇	二、七、四四二	一、六四九
吉田—大和田	阿蘇郡 蘇村	阿蘇郡	一、五〇〇	道路	四・五	直營	自廿年十月二十六日 至廿四年三月二十一日	一八、四九	六〇〇	一、二〇〇	一、〇〇〇	三、四九	二、六六九
木下—酒々井	印旛郡 本埜村	印旛郡	一、一〇〇	"	"	"	"	一、四八六・五〇	一、三三・五〇	一、〇〇〇	九〇〇	一、四、〇〇一	八七〇一
大川岸—安食	印旛郡 六合村	印旛郡	九〇〇	"	"	"	"	一〇、六五	一五〇	七〇〇	六〇〇	三、〇六五	七三三一
成田—滑河	香取郡 滑河町	香取郡	七八〇	"	六・〇	"	"	一五、五六	一、八五〇	九〇〇	九、三三	一、六〇二	
"	印旛郡 久住村	印旛郡	五〇〇	"	五・五	"	"	九、五五〇	五二〇	七〇〇	六〇〇	二、五二〇	六八五三
佐原—潮來	香取郡 佐原町	香取郡	二、六七	"	二・六	"	"	三三、六五	一、六〇	一、三〇	一、六〇	二、七、七五	一、六六七
香取—小見川	香取郡 小見川町	香取郡	一、六七〇	"	四・五	"	"	八、三〇〇	七〇〇	五〇〇	五〇〇	一〇、〇〇〇	六、〇〇〇
飯岡—猿田	海部郡 上岡村	海部郡	一、五〇〇	"	"	"	"	一六、二七五・四	二、五一一	七〇〇	七〇〇	一、八、二七	一〇、六七
一宮—飯岡	山武郡 鳴濱村	山武郡	二、五〇〇	"	"	"	"	二七、五三	二、七九五	一、六〇〇	六、〇〇〇	三、四、五七	一、九五三
"	長生村	長生村	一、九七五	"	三・六	"	"	三、三〇〇	四六六	五〇〇	三、四、一〇〇〇	八、四〇〇	
計			三、三三一					三八、四七〇・九	一、六九二・〇	一、五、六七	二、七、四二	二、六、七	一、六、六三

監督雜費
合計

三、九七九
三二六、七六六

堤防改築工事計畫書

河川名	改築箇所	延長	工種	有效幅員	施行方法	着手竣功期日	工費	土地買收費及補償費	器具機械費	雜費	計	勞力費
江戸川筋	東葛飾郡 浦安町	八〇米	堤防	馬路米 三〇	直營	自十四年十一月二十日 至十四年三月三十日	五、四五六		三〇三	二六五	六〇四三	三、六六
横利根川筋	香取郡 新島村佐原町	三、〇三	"	"	"	"	三、七〇六		一、五〇三	一、四六五	三、〇三	一、五〇一
計		三八六二					三、七〇六		一、五〇三	一、四六五	三、〇三	一、五〇一
監督雜費											三、一三三	
合計											三、一三三	
總計											三、一三三	

三 事業進行の狀況 (昭和十四年
二月末現在)

道路

路線名	郡	町村大字	工事箇所	事業費	前同報告迄	当期	計	出來高	歩合	勞力費	同上使用人員數	摘要
關宿一野田	東葛飾郡	二川		二、〇六五	八、四〇〇	八、四六六	九、三〇六	77/100	77	七、六三三	八、五八八	
邊田一野田	"	旭		九、〇六四	五、八〇〇	五、八〇〇	六、三六一	70/100	70	五、二九六	六、一八五	
說苑										八九		

流山—柏停車場	流山	八木山	二三〇六五	八、二八	六三	九〇三九	74	100	六、八六三	五、九七一
柳戸—柏停車場	〃	手風早	四一〇九〇	三、四三	二、四三	二五、七六三	62	100	二、〇一六	三、〇六一
木下—中山	印旛	木下 永大 治森	二七、四九三	一八、一四	一、八四	一九、九六九	72	100	一〇、一〇〇	九、六七三
吉田—大和田	〃	阿蘇	三二、一四九	三、三六	一、三六	一三、四九二	63	100	六、一四三	五、二九四
木下—酒々井	〃	本埜	一四、五〇一	三、七	六六	一三、五九九	92	100	二、九九六	三、六〇〇
大川岸—安食	〃	六合	三三〇六五	八、七〇	八七〇	九、五七一	79	100	一、九六	一、八七二
成田—滑河	香取	滑河	一九、三三六	三、一六	一、二六	一三、四〇〇	68	100	四、九六	四、五九四
〃	印旛	久住	二、四三〇	七、八〇	七、八	八、六六八	75	100	三、〇七七	二、六三三
佐原—潮來	香取	新島 佐原	二七、七九五	一八、〇六七	一、〇六	一九、八七三	71	100	九、七三	九、八七一
香取—小見川	香取	小見川	一〇、〇〇〇	六、〇〇〇	六〇〇	六、〇〇〇	66	100	三、九三〇	三、三三一
飯岡—猿田停車場	海上	豊岡	一八、二二七	二六、三四	八五	一七、二九	94	100	七、九九二	六、〇〇九
一宮—飯岡	山武	緑海 鳴濱	三、五五七	三〇、八六	二〇、八三	三、九九九	71	100	七、三〇四	六、一〇八
〃	長生	一松	一四、〇〇〇	〇、四〇	七四三	八、二六二	58	100	四、四六四	四、四六四
計			二八二、七六七	一八六、四三三	一七、一八九	三〇三、六六一	72	100	一〇、七七〇	一〇、七九四
監督雜費			三三、九九七		二、六二五					

合計 三六七六 三六二七 68/100

河川

河川名	工事箇所			事業費	出 來 高			出 來 高	摘 要
	郡	町村	大字		前同	報告迄	當 期		

江戸川筋	東葛飾	浦安	堀江	六〇四圓	三、五五五圓	三五六圓	三、九二一圓	55/100	三、七二圓	一、八〇九人
------	-----	----	----	------	--------	------	--------	--------	-------	--------

横利根川筋	香取	新佐原	三島原	二四、一七〇	三、九五五	一、〇九六	三、〇五九	96/100	二六、一四四	三、七〇〇
-------	----	-----	-----	--------	-------	-------	-------	--------	--------	-------

計				三〇、二二三	三、五〇〇	一、四五五	二七、〇二五	90/100	一九、八八五	一四、五九九
---	--	--	--	--------	-------	-------	--------	--------	--------	--------

監督雜費 三〇、三三三

合計 三九、七九四 89/100

四 本事業に對する縣民の熱意

本事業の實施は縣民の擧げて翹望せるところである。各

工事一箇所、地方の町村當局は何れも感謝と熱意とを以つて縣當局に協力し、一般地元民等は、歡喜して(後文)就勞(參照)精勵しつゝある。

縣會も亦異常な熱意を以つて本事業に關する論議を進

め、その實現に努力を拂つたのである。臨時縣會に於ける、本問題に關する主要な論議を摘記すれば左の如し。

○根本治水策に對する政府との折衝の經過如何。

○十月二十一日の暴風雨被害に對する善後處置方針如何

○災害に對する善後措置並復舊施設の實施に當りては、國の補助のみならず縣独自の對策を樹立し、速かに實施せらるゝ様希望す。

○縣は六月下旬に於ける水害復舊事業費四百萬圓程度を要求せりと聞くも、査定額餘りに少額なり。財源を起債に求めて迄も救済施設を爲すが至當ならずや。

○國庫補助に依らざれば豫算計上の意思なきや。

○救済対策は農産物の被害のみを基礎とせられたるが如きも、家屋の損失、人畜の死傷等をも考慮に入れ、救済等を樹立するが至當ならずや。

○災害當時に於ける長官はじめ各部長以下係官の熱誠なる現地調査視察に對し深甚なる敬意を表すると共に、原案に賛成、尙事業の實施に遺憾なき様、治水の根本対策に付き、將來は禍根を貽さざること、應急対策實施を遅延せざること、十月二十一日の風水害対策に付き適當なる施設を講ぜられ度し。

五 工事實施の影響事例

水害対策土木事業の實施は、罹災地方救済上、顯著なる効果を齎らしつゝあるが、一面また工事箇所を選定に於いて、

て、工事實施の結果が地方の開発に及ぼす影響に特に重きを置きたる結果、工事完成の曉は該地方の永久的發展に及ぼす効果も大なるものがあらう。

左にその主なる事例を御紹介したい。

府縣道佐原潮來線改修工事及佐

原町新島村地先堤防増補工事

香取郡佐原町北佐原及同郡新島村は利根川、北利根川、横利根川の中洲を成し、其の被害が最も激甚であつたから、之が救済対策として、工費豫算四六、〇〇〇圓を以て、府縣道佐原潮來線・佐原町北佐原及び新島村地内の改修工事を実施すると共に、一方、同地内に、工費豫算四〇、〇〇〇圓を以つて堤防延長五、四〇九米の増補工事を起工し、以つて罹災民に就勞所得の機會を興へた。前者は勞力費豫算二八、六三六・一七圓で、本工事の完成迄には二三・六九八人を就勞せしめ、後者は勞力費三〇、五九〇・七八圓であつて竣功迄には二五、四九三人に對し就勞の機會を興

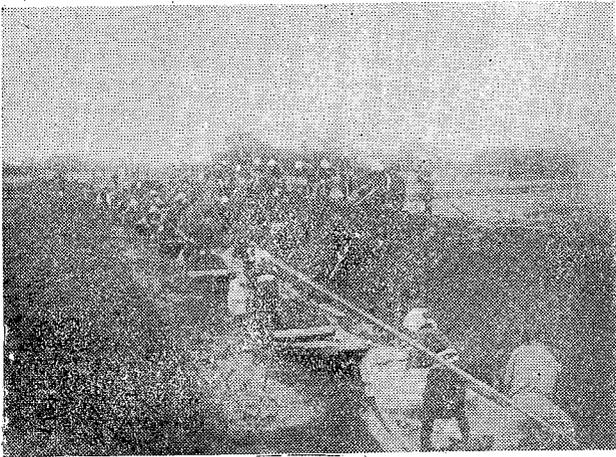
へ得る見込である。起工以來二月末日迄に就勞せしめた員數は前者に於いて、九、八七二人、後者に於いて延一四、

五九九人に達し、これに對して支拂ひたる勞賃は前者に於いて、九、七六二圓、後者に於いて延一九、八一五圓に上つてゐる。

佐原町に於ける被害額は水田、畑を併せて三二九、〇〇〇圓に達し、新島村に在りては水田七五〇町歩中九割以上の減收反別一三五町歩、八割以上の減收反別五二五町歩、五割以上のもの七五町歩に達し、畑に於いても總反別三〇町歩中、五割以下の被害を受けたるもの一〇町歩に達するといふ慘狀であつて、實に村民

全部を擧げて罹災民たる有様である。然しが、る慘憺たる状態にも拘らず、罹災の直後は、尙連年豊作の後を受ける

多少米穀の貯有もあり、且つ最も激甚なる被害地とて、世間の同情も集り、兎に角差當りの生活を支へ得る者も多少



佐原——潮來線作業の状況

あつたが、月日の経過するに隨ひ、貯藏米は漸く盡き、社會の同情にも一定の限度があり、加之當地方の唯一の副業たる蓆繩の製作は、原料たる藁の不足によりて殆ど收益を見ることが出來ず、一般地元の生活窮迫は漸く深刻化せんとするに至つた。

本工事は斯る時期に於いて起工せられたものであるから、その罹災民救助上の効果は極めて顯著であつて、關係町村當局及地元民一同の感謝と歡喜は一方ならず、何れも非常に喜んで就勞精勵してゐるばかりでなく、災害直後出稼せる人々の中にも、漸次歸郷して工事に従事する者

を生ずるに至つた。一家より數人宛就勞する者も多く、隨つて一日數圓の所得を收むる家庭も少からざる有様であつて、それがために起工後、日を経るに隨つて、生活の窮迫は稍緩和せられて來た觀がある。例へば潮來町や佐原町の肥料商米穀商等に對して借金の一部を支拂つた者などもあるし、日常必需品の現金購入者なども頓みに増加しつゝあるといふが、それ等は何れも、本工事の實施に依る収入の増加と直接間接の關係があるものと考へられるのである。

この地方に於いても、獨り下層生活者ばかりではなく、相當の資産を有し中層以上の者までも進んで就勞する傾向のあるのは、當地方に於ける被害が極めて甚大にして、斯る階層の人々までが、窮迫の状態に陥つてゐることを示すと共に、また他の一面に於いては、本路線の開通と堤防の増補とが、將來に於ける水害の豫防上、及び地方の開発發上に及ぼす効果影響の甚大であることを一般に認識せることに由るのである。

佐原潮來線は從來未改修であつて、全く車馬の通行に適

せず、殊に途中を與田浦渡船場によつて遮斷せられてゐるので、佐原方面から潮來を通じて鹿島方面に經る捷徑であるに拘らず、全くその機能が發揮せられない状態に在る。

然るに本線開通の結果、自動車の通行が可能となれば、渡船場等にも改良を加へらるべき見込であり、隨つて佐原町方面から鹿島神宮に參詣する者は從來の約二分の一の距離で潮來町に到達し得るに至るであらう。加之北佐原及新の機能を充分に發揮するに至るであらう。加之北佐原及新島村の主要なる移出入貨物は本線の開通に困りて其の運賃を低下し、その方面から、地元民に及ぼす利益も亦相當大きなものと思はれるのである。

府縣道一宮—飯岡線改修工事

本工事は山武郡緣海村及鳴濱村地内約三、〇〇〇米に互る改修工事にして、總工費四二、〇〇〇圓、内勞力費は二五、七五〇・五三圓であるから、工事完了までには約二、三、〇〇〇人の地元民を就勞せしめ得る見込である。二月末日までに使從せる人夫數は六、二〇八人にして、これに對し

て支拂ひたる勞力費は七、三〇四圓に達する。

○水害の狀況と地元民の窮迫

本工事一箇所を包含する綠海村、鳴濱村及蓮沼、南郷、片貝等の諸町村一圓は、木戸川の増水其の他の原因により、山武郡内に於いて最も激甚なる被害を蒙りたる地域にして、例へば綠海村に就いて見るも植付不能の狀態に陥りたる水田約八十町歩に達し、既に植付を終りたる三〇八町歩餘の水田も、冠水長きに互つた爲め、少からぬ減收を見、損害額五一、三六〇圓に達した。畑地に在つても被害少からず、

其の主要なるものゝみに就いて見るも大麥に於いて四、二八八圓、小麥に於いて五、八〇八圓、桑に於いて二、五五六圓、其の他の損害を併せ七〇、八七六圓の巨額に達する狀況であつた。當地方は一般に小作人多きため、米穀をはじめ生活資料を貯藏する者少く、最も困難なる狀況を呈した。それでも水害の直後は、尙多少の貯藏を有つものもあり且つ社會の同情もあつて、親戚または商人より借金する等の方法に依り、生活を支持するを得たが、月日の経過

と共に貯蓄は漸く盡き、其の上地方の主要副業たる叭製作は、水害に因る藁の價格上騰のために、利益少く、然かもこれに代るべき収入の手段を見出し得ず、地元民は兎もすれば不安焦燥に驅られる狀態に陥つた。本工事は斯る狀態の下に起工せられたものであつて、隨つて地元民を歡喜せしめ、力附け、不安焦慮から救ふと共に、更生の意氣に燃えしめ其の上に大きな効果があつた。町村當局もまた本工事の實施が決定するや漸く愁眉を開き、深き感謝を以つて工事の進捗に協力した。

一度本工事の開始せられるや、工事地元たる綠海、鳴海の兩村は固より、南郷、片貝等の諸町村よりも、就業者多く、殊に工事の中心地域たる綠海村の如きは各戸競つて就勞し、一戸より男女數名の出役者を出す者が少くない。地元民が如何に熱心に就勞しつゝあるかは、例年ならば舊正月の五日間（此地方は舊正月に
より新年を祝ふ）は全く働かず、身心を安めて遊び暮らすを常態とするのであるが、本年は正月一日より休まずに就勞する者が少くなく、且つ降雨の日と雖も休

まうとせず、出役を希望するの一事によつても知られるのである。また就勞者が、一般の土木工事の場合と異り、獨り下層生活者のみに限らず、比較的上層に屬する者をも含み、地租十圓以上を納むる者、土地(田畑)三、四町を有する者までも、一般に喜んで就業しつゝあるのも、本工事が如何に、水害対策として重要性を有ち、そして地元民にとつて必要なるものであつたかを示す一現象である。即ち相當に土地を所有する者も、多くは小作人と同様に収入を失ひ、相當生活の困難に陥りたるものであつて、彼等も春蠶による収入を得られるまでは、何等かの手段によつて収入を求めらるる必要に迫られてゐるのである。

○工事實施の影響

一戸數名の就勞者を出す者も少からざる状態であるから、工事の開始後相當の収入を得、窮迫の状態が緩和せられた有様が見受けられる。他の工事施行地方と同じやうに借金一部の返済をする者や、現金による日常必需品の購買者が多少増加の傾向を示したばかりでなく、地元民の被害

によつて受けたる精神的打撃を除去し、「働きさへすれば収入を得られる」といふ心強さを彼等に與へたことは注目すべきである。

更に、綠海村に在つては、本工事が村治上に及ぼした好ましき影響を見遣してはならない。周知されてゐるやうに綠海村は過去數年間小學校分離問題等を扱んで、部落間に風情の對立を生じその直前の頃まで、村治上圓滿を缺く傾向があつたのであるが、本工事を中心として、従前のそうした好ましからぬ傾向を一掃し、村民の協力一致を一層強化する結果を招來したのである。過去に對立の立場に在り兎もすれば融和を缺き勝ちな傾向のあつた部落々々の人々は何れも、一樣に工事に就勞し、終日協力して作業に従事するため感情の疎隔は何時か消え、親和の氣持が醗酵せられて來た。村が工事に必要な土地及地上物件の買收費を必要とするや、村民は何れも勞力によつて得たる金額の一部を村に寄附することゝした。即ち上下兩部落より所謂義務人夫を出して就勞せしめ、依りて得たる勞賃を村に寄附す

るといふ美はしい親和の情景を呈したのである。義務人夫の員數は延約七〇〇人、其の勞力費は六〇〇圓に達したばかりでなく、出役者の精勵振りは村當局を深感濕せめた。

本工事の實施は斯如く、水害に對する應急對策として顯著なる効果を收めつゝあるばかりでなく、本路線開通の上は一面また、地方の開發に資し、その永久的福祉に寄與する所の、少からざるべきことが豫想せられるのである。即ち本線は九十九里濱漁業の中心地たる片貝地方と、その市場たる銚子地方とを連絡する重要路線であつて、本路線が改修せらるれば、片貝地方に生産せる漁獲物を銚子市地方に迅速に運搬して、其處で水産製品とし、また片貝地方に於いて不漁のため水産品原料たる生魚の不足を生じたる場合は（片貝も有名な水産製品製造地である）銚子、飯岡、匝瑳海岸地方から原料を迅速に運搬し、圓滿に、有無相通じ得るに至るのである。加之本線の改良は、沿道一帶と鐵道との聯絡を改善して移出入物資の運賃を低下し、依りて以て地方民の利益を増進するに至ることは明かである。

府縣道柳戸柏停車場線改修工事

本工事は東葛飾郡手賀村及風早村地内延長三、八〇四米に互る區間の改修であつて、總工費六八、〇〇〇圓、内勞力費は四一、二九五・九九圓であつて、工事の完成までには約延四七、〇〇〇人の地元民を就勞せしめ得る見込である。二月末日現在就勞者數は二三、〇六三人に達し、それに對して支拂ひたる勞賃は二一、〇一六圓に上つてゐる。

手賀村一圓は、本縣に於ても最も激甚な水害を蒙つた町村の一つであつて、手賀沼の増水により冠水長日に互りたるため、同村水田總反別約五〇〇町步中四〇五・四町步は悉く被害を受け、其の額二二二、七九五圓に上り、畑地の被害は一九〇・三町步にして、被害額一九、一七五圓に達する慘狀を呈した。隨つて水害の村民の生活に及ぼせる影響は深刻であつて、殆ど收穫皆無の状態に陥り、生活の手段を失ふ者も少くない状態であつた。被害者中米穀の貯藏のない者が大半を占めてゐたから、彼等は何れも、親戚知己に頼つて一時の救助を受けたり、または米穀商より借入れ

たりして、僅かに生活を支へる状態に陥つたのであつて、副業として販賣すべき野菜も被害を受けたので、この方面からの収入も殆ど絶え、郷土に於いて生活を與ふることが出来ず、他の地方に出稼した者も少くなかつた。

隨つて本工事の實施は、關係町村當局と一般地元民から非常に感謝せられてゐる。手賀村をはじめ風早、我孫子、湖左、柏、富勢、田中、小金、八木、松戸等の諸町村から喜んで就勞する者が多く、既に二月末日迄に支拂ひたる勞賃は前記の如く二一、〇一六圓に達した。最近その影響は地元諸町村民の生活上に好ましく現れを示し、他の地方と同様、日常必需品の現金購買者、罹災當時の借金の支拂ひをなす者などがポツ／＼現はれて來た。收得した勞賃によつて、正



柳戸—柏停車場線作業状況

月を迎へる費用を得た者なども少くなかつた。

本工事の實施は單に水害に對する應急的救濟手段としてばかりではなく、將來沿道一圓の開發上に及ぼす影響の、極めて大きなものであるべきことが豫想せられる。當地方は東葛飾郡地方に於いて最も交通不便な地方であつて、村内自動車の通行さへなく、移入貨物に多額の運賃を要し、それがために年々移入する肥料等は他の地方より高價であるし、米穀をはじめ各般の農産物資の價格はそれだけ低廉であつて、當地方の大部分を占めてゐる農民は、それがために直接間接に多大の損失を蒙つてゐる有様である。

現在は尙工事進行中であつて、本線開通の結果が、地方

の開発上に齎らす利益を、具體的に知ることは困難であるが、大體次の如き効果が豫想されてゐる。

手賀村のみに就いて見るも

(本線の開通によつて最も大な利益を受けるのは同村である)

其の主要産物中、他の地方に移出せられるものは、毎年米約二五、〇〇〇俵、麥七、五〇〇俵、木材四、五〇〇石、野菜其の他約二〇〇、〇〇〇貫に達してゐるが、現在交通不便のため、其運賃は驚くべき高額にして、村民の負擔を重からしめてゐるのであるが、本線開通の結果は、搬出貨物の運賃低下に因る利益のみでも約四〇、七〇〇圓に達し、一面肥料等をはじめ搬入貨物の數量は年一二三、〇〇〇貫を超えるから、その運賃低下に因る利益を併すれば、運賃關係のみにても、莫大な利益が招來される見込である。

また、當地方は交通不便のため、從來未開墾のまゝ放置されてゐる原野なども多いが、本線の開通後は、土地價格を上騰せしめると共に、沿道原野の開墾なども盛んに行はれるであらう。また近く山林伐採價格などの騰貴も一般に豫想せられてゐる。

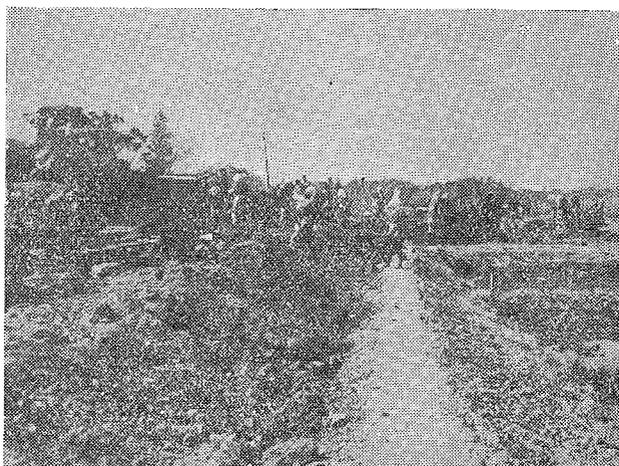
府縣道木下中山線改修工事

本工事は總工費六五、〇〇〇圓にして、其の内勞力費は三九、〇八六圓に上り、勞賃單價一・二〇圓であるから延約三二、五七〇人の地元民を就勞せしめ得る見込である。

二月末日現在、就勞者は延五、二九四人であつて、これに對して支拂ひたる勞賃は一〇、三〇二圓に達する。工事箇所を包含する大森町、木下町、永治村等は、利根川、手賀沼に接近し、縣下で最も激甚な被害を蒙つた地方の一つである。排水の便少く、冠水が永日に互つたため、農産物の被害は慘憺たる狀況を呈した。大森町に就いて見るに、水田總面積三四〇町步中、收穫皆無の狀態に陥つたもの二一五町より、約五割前後の減收を見たもの、五〇町步に達し、其の他にも相當の被害を受けたもの多く、全く被害を受けざるものは殆ど絶無の狀態であつた。家屋の浸水に因る被害も甚大であつて、浸水家屋三〇〇、床上浸水約二〇〇戸に上り、これがために商賣は殆ど休業し、町民が直接間接に蒙りたる損害は甚大なるものがあつた。一方また

當地方の副業として行はれてゐた蔴繩等の製作は、水害のために原料たる蔴が未曾有の高價を示したため、其利益は殆ど見られぬ状態であつて、東京地方をはじめ諸方に出稼せる者が百四五十人に達した。斯如く被害は甚大であつて、中には最近數年比較的豐作の後を受けて多少の貯蓄を有する者もあつたが、町民の大部分は借金に依つて生活を續けるの外なく、全く窮迫の状態に陥つたのである。

本工事は斯る状態に直面して實施せられたものであるから、町民及び町當局の喜びは一方ならず、地元民は競つて就業し、中には一家内より男女數人の就業者を出すものも少からず、何れも感謝の念を以つて毎日工事に精勵してゐる。工事の開始以來、勞賃の所得（一日數圓の所得ある家も少



木下—中山線改修工事の状況

くない）に因り、罹災民の生活困難は漸く緩和せられつつあり、其の收入の一部を罹災當時の借金の返済に充てたり、または税金を以つて、日常所要品の買入れをなすものが増加したなどはその現はれである。中にはまたこれによつて日々の生活を支へるのみに止まらず、其の一部を貯蓄して、農繁期に入り、農耕の爲め、毎日工事に就勞し得ざるに至つた場合に備へる者もある。

就業者の作業状態は極めて熱心であつて、工程の順調なる進捗を見つゝあるが、それは前に述べたやうに、本工事が應急對策としての重要性を有ち、地元民の本工事に對する感謝と歡喜との感情を示すと共に、一面に於いては、地元民が、本道路改修工事の結果が、地元の耕地に對

する防壁としての使命を有ち、且つ非常災害時に於ける交通杜絶の危険を除去するの效果あることを認めてゐるためである。蓋し本工事は這般の浸水の經驗に徴し、現在の地盤に約三尺を盛土して將來の浸水を防止することをも目的とするものであるし、また一面之によりて耕地への浸水を遮防し得るものである。昨年の出水當時の如き、本路上は浸水深く、それがため約二ヶ月に亘り二十七町餘の距離に及ぶ區間を、路上を渡船に依りて交通するの已むなき状態に在つたが、工事完成の曉は、斯る危惧は完全に除去せらるべき見込みであつて、非常災害の際にも交通の圓滑が期し得られるのである。

府縣道飯岡—猿田停車場線改修工事

該路線の沿道地方に於ける水害地域は、飯岡、三川、瀧郷、椎柴、鶴巻、船木、東城、旭等の諸町村にして、これに對する救済對策として本線の改修工事を實施したのである。當地方も洪水により、水田の被害を受けたもの少からず、隨つて地元町村民は何れも本工事の實施を翹望し、工

事が起工せられるやそれ等の諸町村から就勞する者多く、二月末日現在までの就勞者延人員は六、九九九人にして、これに對して支拂ひたる勞賃は九、〇七五、七三圓に達した。

工事實施の結果が、罹災民の生活窮迫を緩和したるに、他の工事に於けると同様であるが、斯る應急的救済の方法としてばかりではなく、一面それはまた地方の永久的開發上顯著な效果を齎らすべきことが豫想せられるのである。

第一、本路線開通の結果は、豊岡村及び飯岡町の一部より、猿田停車場に運搬せられる甘藷、小麥、菜種等をはじめ多量の貨物及び、同地方に移入せられる肥料その他の貨物の運賃を著しく低下せしめることによつて、地元民に齎らす利益は大なるものがある。殊に豊岡村は有名な甘藷の生産地であつて、その産額は多量に上り、然も從來それが運搬は馬背または馬車に依るの外なく、生産者はこれがために相當重き負擔を餘儀なくせられてゐたのである。路面が粗惡な上に、坂があつて、馬は甘藷四俵（小麥は二俵）を荷することが出来るに過ぎず、馬車でさへも最高十俵以上

を積載することが出来なかつた。降雨の日などには積載量は半減し、然かも一往復に長い時間を要したのである。随

つて運賃は頗る多額に上り、普通の場合、甘藷一俵九錢前後もかゝつた。然るに本路線改修の上は、同じ馬車に少くも二十俵を積載することが出来るであらうし、その上トラックの通行も自由になるから、豊岡村一箇村のみでも、その運賃による利益は多額に達する見込である。本線開通の結果、豊岡村方面の主要物産及び移入貨物の運賃單價に以下の如き低下豫想せられてゐる。大小麥六錢(現在十二錢)

甘藷四・五錢(現在九錢)、米六錢(現在十三錢)、茶種六錢(現在十二錢)、肥料五錢(現在一〇錢)。

第二に、本路線が開通すれば、豊岡、三川、椎柴、飯岡町諸町村の地内に連互してゐる原野が急速に開拓せられ、

廣大な耕地が獲得せられる見込である。現に開通を見越して既に開墾に着手してゐる者も見受けられる。現在に於いては未だ工事進行中であるから、確實に全額を知ることが出来ないが、沿道の地價等も相當に上騰し、地方開發の氣

運が急速に誘致されるであらう。

府縣道木下酒口線改修工事

(本埜村地先)

本工事は、印旛郡本埜村を中心とする印旛沼畔の被害町村に對する救済を目的として實施したものであつて、工費評算三〇、〇〇〇圓、内勞力費一八、一五八圓にして、完成迄には約一五、一三〇人の地元民に就勞所得の機會を與へ得る見込みである。

本工事の實施が、地元民の窮迫せる生活に對して、如何なる物質的精神的影響を及ぼしたかは、工事地元村、本埜村長の所見によつて明かにされてゐるので、そのまゝ掲記して、御紹介したい。

本埜村長 小名木倉吉

社會の進運愈々急なるの秋、都市の繁榮も地方の開發も産業の進展も一に道路が其原動力としていかに重要な役割をして居るかと云ふ事に論を俟たない處であります。即

ち道路の改良なくしては到底、絶対に産業の進展は望めない。昔はいざしらず、人口の増加と文化のもたらした各種交通機關の發達につれて道路の交通は日に日に激増して参りました。

私の村は印旛沼に面して人口四千數百人を有する純農村でありまして、御多分に洩れない甚だ道路の悪い村であります。尤も村境の兩端を走つて居る縣道もありますが、村の中央部即ち村役場附近は實に泥土悉惡路でありまして、貨物の搬出には勿論、人馬の交通上にさへ實に不便至極で、村民は都會方面居住者の夢想だに及ばない苦勞を續けて参りました。然し永年に互り此の惡路泥土と闘つて來ました村人は、只位置の悪しき處に住める者の不幸としてあきらめ、致々としてお互にはげましては産業の振興に、村自治の向上に邁進して参りましたが、前述の如く社會の進展に連れて各種交通機關の發達と共に、昔時の惡路に甘んじて居るをゆるしません。遂に縣の指導により、自らの道に自らの力に依りてと云ふ信念のもとに、村道路愛護會を組織

し、月に二回の道路愛護日は定めて全員の勞力奉仕によりまして着々と道路の改良に一致協力して居ります。愛護會を組織してより爾來四ヶ年續いて、縣長官閣下の表彰を受けて居ります事に依つても、いかに本村が道路の改良に心を注いで居るかと云ふ事が證明出來得る事と信じます。尤も、之も一に上司各位の御指導の賜である事は勿論であります。

以上の如く村人が總力を擧げて努力はするものゝ本縣下の如く、一粒の砂利も産しない状態であり、隨つて土壤も甚だ悪しく、道路の改良に並々ならぬ苦心と努力を要します。私は常日頃より縣土木課關係各員がいかに他府縣に比較して其の勞苦の多きかを思ひては只々感謝し念に堪へない一人であります。

昨年六月末より降り出した豪雨のため、數十年來嘗て見ざる水禍に遭ひ、村民の辛苦による水田四百餘町歩、畑作二百五十町餘は見る／＼水中に没し、遂に一粒の米も麥も收穫するを得ず、多數村民は食するに米なく、實に慘狀言

葉に盡すを得ざる状態となり、村理事としての私も全く手の下し様もなく、途方に迷ふに至り、止むなく政府の貯蔵米の貸下を受けて一時の糧としたるも、村民は働くに仕事もなく、一部青年は上京して軍事工業方面に働けるも、多數村民が他に轉出は絶對不可能にして、就勞の途なく困却の砌、恰も暗夜に灯を得たるが如く水害対策土木事業として本村内縣道改修工事の施行せらるゝ事となり、以て一には働くに仕事なき多數村人に就勞の機會を與へ、一には多年要望の道路改良工事となりて一石二鳥の好事業にして、全村齊しく愁眉を開き、理事者たる私は只御上の難有さに感泣致しました次第であります。然して本工事に着工以來、男も女も、若きも老ひたるも、吾先きにと工事場に押寄せては出場登録を濟ませ、只一途に我等の道よ一日も早く竣工せよ難有きは御上なりと努力致す様、そしてお上や監督者に對しては申すまでもなく、私共役場吏員に對しても只感謝しつゝ働ける喜びの村人を目の當り見ては、共によろこび、そして感謝する念のほとばし出づるを禁じ得

ません。此の勞銀により來る可き植付も出來得るでせう。又青年學校生徒は團體作業訓練として同工事場に於て指導員指揮下に月二回の就勞してゐます。其の收入の一部を以て銃器購入に資するが如き村民負擔の輕減を計り、時局下に於ける青年訓練に一層の効果を擧げ等、實に此の工事に依り得たる恩惠の大なる筆舌に盡し得ず。然して此の工事の完成に依り本村産業の振興、運賃の節約、運搬力の増加、時間の經濟を計れる等、其の利益は大なるものがあります。從來の運搬賃の半額にて運搬することが出来るやうになると思ひます。斯様な交通上の利便は更なり、此の事業に依つて吾本村村民の精神的方面に及ぼせる影響も大なるものです。此の國家重大事局に於て吾罹災者を救濟されたるお上の御恩惠の偉大なる、深く肝に銘じて愈々協力共に相扶け合ひて銃後者としての任務達成に心を致すつもりであります。村民等は此の事業の狀況を一線に働ける子弟（出征將兵）に報告しては彼等に安心を與へる等、戦地より來る將兵の手紙の中に見えたる文面に依りても其家族達の

喜び居る有様が忍ばれる次第であります。

此の工事は本村産業振興、農村更正、福利増進其の他いづれの角度より見ましても、非常に緊要な土木事業であることを確信しつゝ、四千餘名の村人と共に感謝し以て重大事に對抗するの覺悟を固めた次第であります。

今後本村民の道路に對する認識は益々深く、此の意義ある水害對策事業に依つて完成すべき道路は永久に村人の腦裏に刻まれ、愈々道路愛護精神は高揚して來ることゝ信じます。

六 結 び

右に概要を記したやうに、本縣が實施せる水害對策應急土木事業は、寧ろ豫期以上ともいふべき顯著な効果を収めることが出來た。それは勿論、本事業の性質自體が、最も

時宜に適し、縣民の熾烈な要望に適應せるものであつたことに因るが、一面また次の如き理由にも出るのである。

即ち先年施行せる時局匡救土木事業に際しては縣工事と市

町村工事とに分ちてこれを實施したが、當時市町村事業は、工事施行箇所を選定、其の他の問題で兎角紛擾を生じ易く、隨つて工事を遷引せる傾向があつたので、今回はその經驗に徴し、斷然全部を縣事業とし、且つ工事方法は請負を排して直營を以つて執行し、依りて以つて施行期間の切迫せる事態に對應して進捗の迅速を期すると共に、工事成果の完璧を意圖したのである。

目下、本縣土木課員中には、應召して聖戰の第一線に立つ者少からず、其の上時局の影響に因つて他方面に轉出せる者等多く、極めて手不足の状態に在る際でもあり、短期間に事業の計畫を樹立してその執行の完全を期するためには、課員一同は協力一致、最善の努力を拂はなければならなかつた。

× ————— ×

× ————— ×